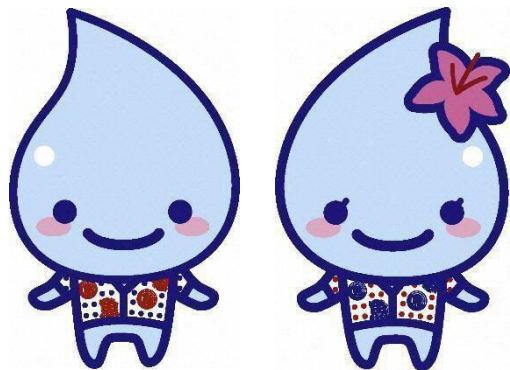


焼津市水道ビジョン・経営戦略2020

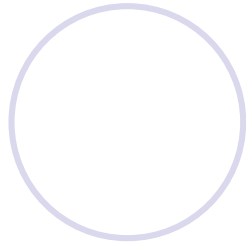
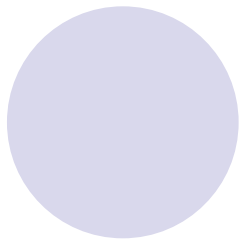
令和4年度 達成状況

焼津の
すいどう

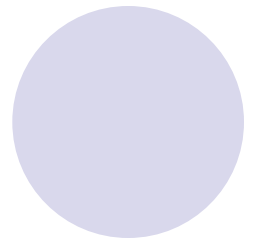
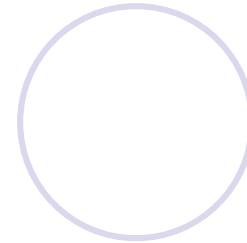


日時 令和5年12月12日(火)午後2時

場所 焼津市水道庁舎



～ 目 次 ～

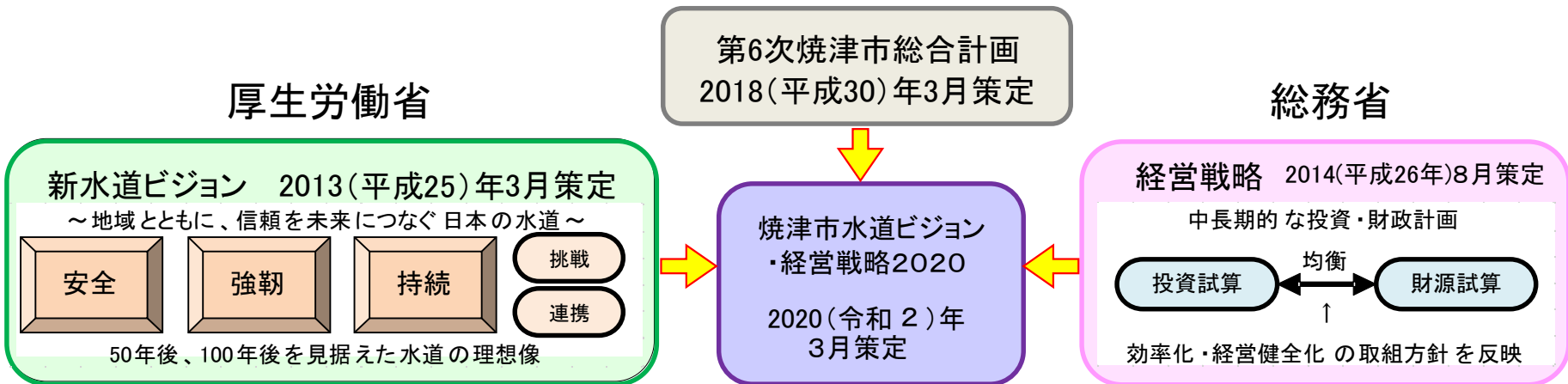
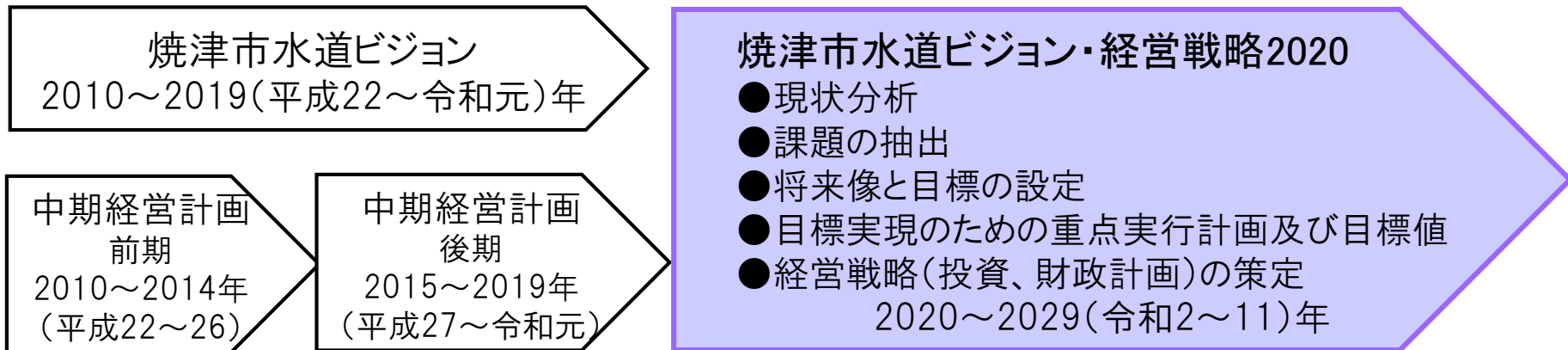


- 1. 焼津市水道ビジョン・経営戦略2020について**
- 2. 水需要の推移**
- 3. 令和4年度目標達成状況**
- 4. 令和5年度決算の見込み**

1. 焼津市水道ビジョン・経営戦略2020について

1-1. 焼津市水道ビジョン・経営戦略2020の概要

焼津市水道事業の計画



<水道事業を取り巻く状況の変化>

- ・人口減少社会の到来
- ・東日本大震災の経験

基本理念：おいしい水を 未来へつなぐ やいづの水道

安全

基本方針：安全でおいしい水の供給

- 基本目標①水質の適正管理
②水源の維持

強靱

基本方針：災害に強い水道の構築

- 基本目標①施設の更新
②管路の耐震化
③危機管理対策の強化

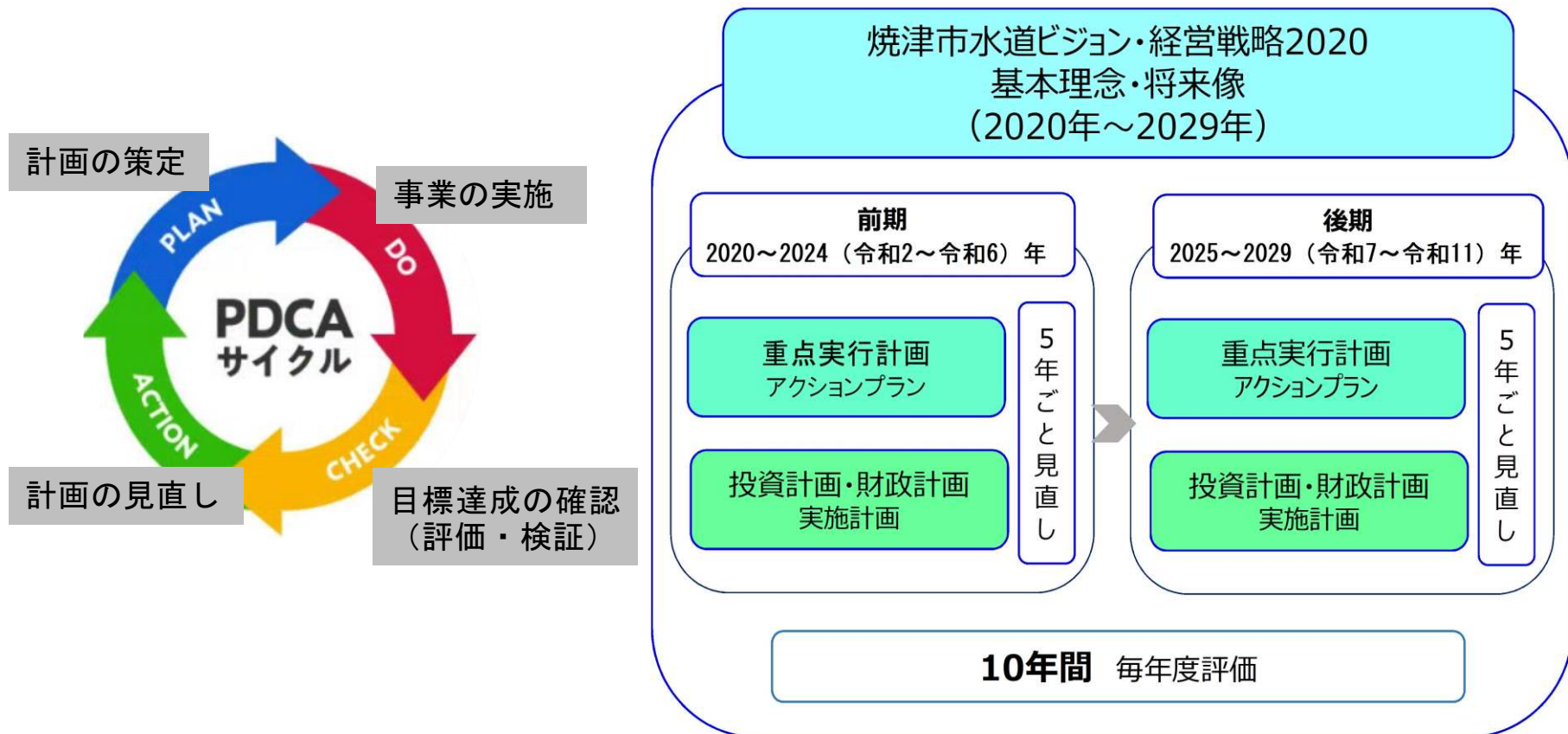
持続

基本方針：未来につながる健全な事業経営

- 基本目標①経営基盤の強化
②業務の効率化
③お客さまとのコミュニケーションの推進
④環境に配慮した事業の運営

1-2. 計画的なフォローアップ

重点実行計画を着実に実施していくためには、計画の進捗管理が重要となるため、毎年、PDCAサイクルを用いて、目標値に対する評価を行います



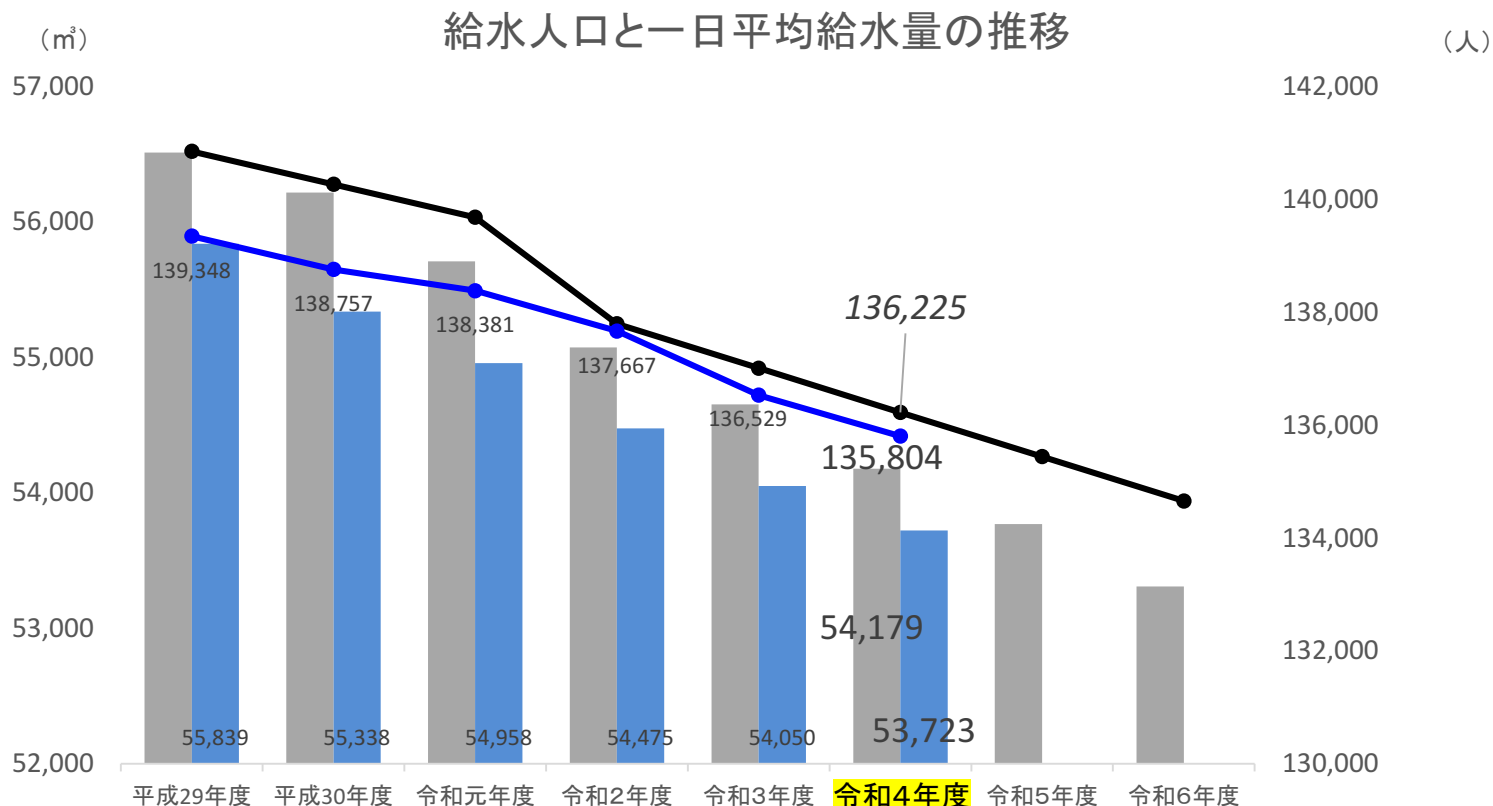
検証委員会では、毎年の目標達成の確認(評価・検証)と、5年ごとの重点実行計画と投資・財政計画の見直しについて協議していただきます

2. 水需要の推移

2-1. 給水人口と給水量

給水人口は計画を僅かに下回った。

一日平均給水量は給水人口の減少傾向に加え、使用者の節水意識の高まりや節水機器の普及などによる生活用水及び工場用水の減少などが影響し、計画値を下回った。



■ 一日平均給水量 (m³) 計画

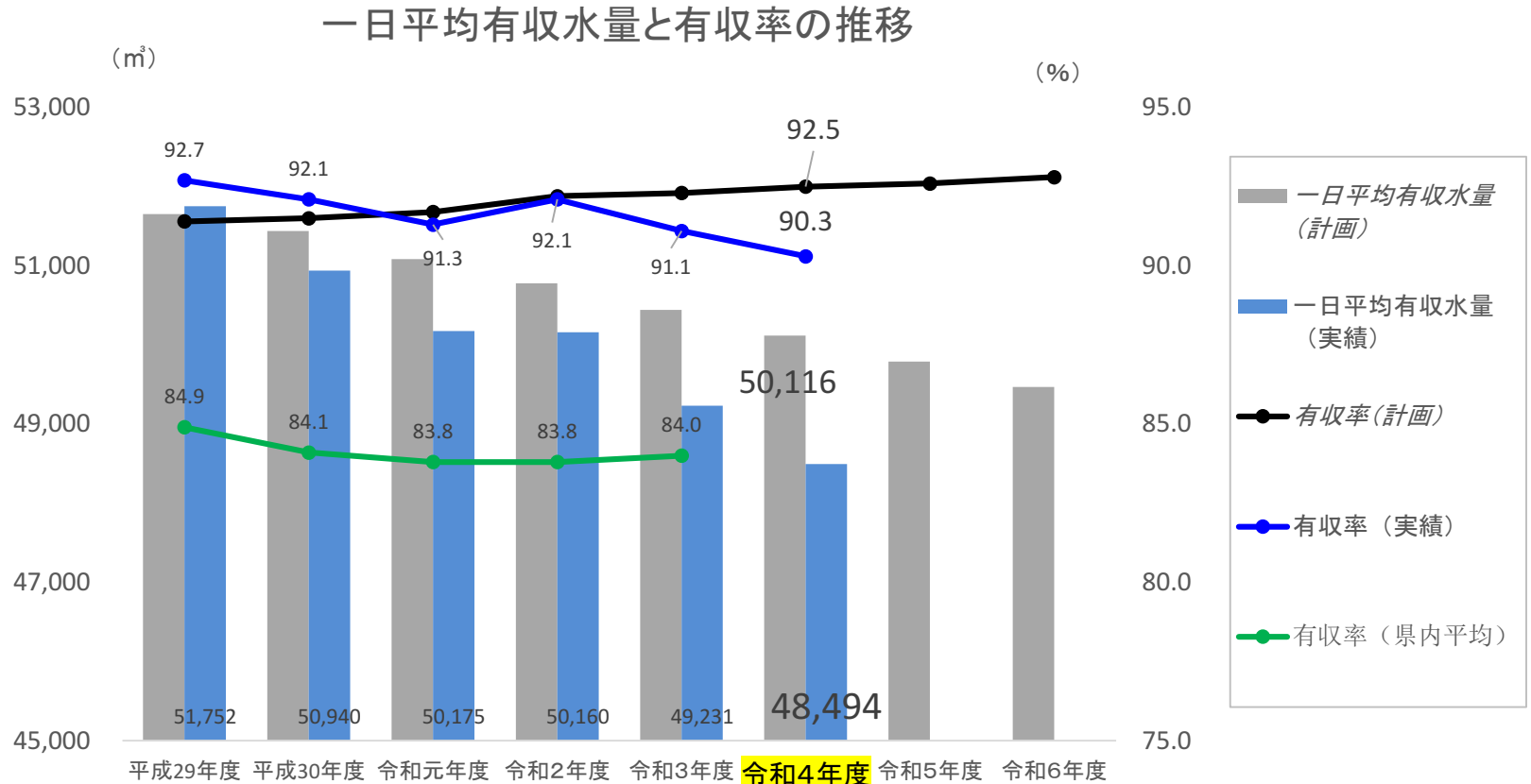
■ 一日平均給水量 (m³) 決算

● 給水人口 (人) 計画

● 給水人口 (人) 決算

2-2.有収水量と有収率

給水量の減少に伴い、有収水量(料金徴収の対象となった水量)は計画値を3.2%下回った。有収率は、前年度比0.8ポイント減の90.3%となり、計画値に2.2ポイント達しなかった。

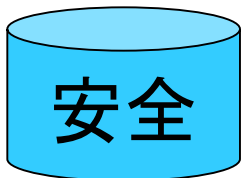


※有収率(県内平均)は、「静岡県の水道の現況」(令和5年4月発行)より

3. 令和4年度目標達成状況

3-1. 重点実行計画の目標達成状況

3-1-1. 安全



基本方針：安全でおいしい水の供給

基本目標 1：水質の適正管理

実現施策	水源から給水までの水質管理の徹底	受水の水質管理
重点実行計画	・水質検査計画に基づく水質検査の継続実施 ・鉛製給水管の水質検査の継続、使用者への広報	受水の水質を注視、日常の水質検査の実施

基本目標 2：水源の維持

実現施策	水源井戸の維持・管理	水源井戸の定期的な調査	地下水の動向把握
重点実行計画	水源井戸の維持・管理の継続実施	水源井戸の修繕計画の作成	地下水利用団体の会議等への参加

基本目標 1 : 水質の適正管理

	評価指標	R4年度目標		R4年度実績		評価
1	水質検査計画の策定	1	回/年	1	回/年	○
2	水質検査計画の実施率	100	%/年	100	%/年	○
3	鉛製給水管の水質検査	4箇所×2	回/年	4箇所×2	回/年	○
4	鉛製給水管使用者への広報(対象者)	1	回/年	1	回/年	○
5	大井川広域水道企業団の水質確認	1	回/月	1	回/月	○
6	日常の水質確認	1	回/日	1	回/日	○

- 1 水道法に基づき、水質検査計画を策定した。
- 2 水質検査計画に基づき全ての検査を実施し、その結果は適正であった。
- 3 調査を4箇所実施し、2箇所で基準値を超える値を確認した。使用について及びポリ管へ改良するよう指導を行った。
- 4 広報やいつ6月号に掲載すると共に、給水装置改造申請の際、鉛管があると確認された申込について個別指導を行った。(対象37件中24件解消)
- 5 受水について、大井川広域水道企業団の水質検査計画に基づく検査結果を毎月精査し、水質が適性であることを確認した。
- 6 全ての配水場で毎日、残留塩素を測定し、その結果は適正であった。

基本目標 2 : 水源の維持

	評価指標	R4年度目標		R4年度実績		評価
7	水源井戸の水位・水量測定	1	回/月	1	回/月	○
8	水源井戸の修繕計画の実施	-		-		-
9	地下水利用団体の会議参加	1	回/年	1	回/年	○

7 稼働中の水源井戸について、静水位、動水位の測定を毎月実施し、大きな変化がないことを確認した。

8 令和4年度は対象案件なし。

9 大井川地域地下水利用対策協議会の会議に参加し、地下水に異常がないことを確認した。

3-1-2. 強靱



基本方針：災害に強い水道の構築

基本目標 1：施設の更新



実現施策	計画的な水道施設の更新	計画的な水源井戸の更新	自然災害対策
重点実行計画	点検・修繕の実施、老朽化施設の計画的な更新	老朽化した水源井戸の計画的な更新	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水区域にある水道施設の対策 ・土砂災害危険区域にある高台施設の対策

基本目標 2：管路の耐震化

実現施策	基幹管路の耐震化	重給管路の耐震化	給水管の耐震化
重点実行計画	基幹管路の優先的な耐震化	重要給水施設管路の優先的な耐震化	民間工事への給水管耐震化の働きかけ

基本目標 3：危機管理対策の強化

実現施策	マニュアルの精査	システムの活用	応急給水・応急復旧体制の確保	停電対策
重点実行計画	事業環境の変化に応じた定期的な見直し	システム導入による施設情報の管理	応急給水や応急復旧用資器材の確保 災害時を想定した防災訓練の継続実施	発電機(レンタル)の手配・手続き方法の確立

基本目標 1 : 施設の更新

	評価指標	R4年度目標		R4年度実績		評価
10	水道施設の修繕計画の実施	100	%/年	100	%/年	○
11	老朽化した水源井戸の更新箇所数	-		-		-
12	浸水想定区域内施設の対策	六軒屋		-		△
13	土砂災害区域内施設の対策	-		-		-

10 祢宜島配水場着水井等の点検業務を実施した。

11 令和4年度は対象案件なし。（関連する導水管工事との調整により、更新工事を後年度へ振り替えたため）（累計2箇所）

12 六軒屋配水場の浸水対策について検討した。

13 坂本加圧ポンプ所について、土砂災害の被害想定等を踏まえ、事業に必要な用地について、検討を行った。

土砂災害特別警戒区域（急傾斜）内にある古跡ヶ丘ポンプ所について、代替用地を取得した。

基本目標 2 : 管路の耐震化

	評価指標	R4年度目標		R4年度実績		評価
14	基幹管路の耐震管率 (水道配水用ポリエチレン管を耐震管延長に含む)	39.6	%	42.6	%	○
15	重要給水施設管路の耐震管率	37.6	%	39.0	%	○
16	対象給水管のうち耐震継手の使用率 (対象給水管は、給水装置工事の申請のあったもの)	60	%	100	%	○

14 基幹管路L=1.0kmについて更新を行い、目標の耐震化率を達成した。

15 重要給水施設管路L=1.9kmについて更新を行い、目標の耐震管率を達成した。

16 新規・改良の給水装置工事の申請の際、耐震継手を使用するよう指導した。

基本目標 3 : 危機管理対策の強化

	評価指標	R4年度目標	R4年度実績	評価
17	危機管理対策マニュアルの見直し	1回/年	1回/年	○
18	上水道地図情報システムのデータ更新	1回/年	1回/年	○
19	近隣3市での資材リストの更新・共有	1回/年	1回/年	○
20	災害対策訓練実施回数	3回/年	14回/年	○
21	燃料備蓄日数	2日	2日	○
22	レンタル発電機の手配・手続き方法の確立	-	-	-

- 17 12月の訓練後の2/21の危機管理会議では、特段マニュアルの見直しについての意見はなかった。
組織変更（R5）に伴うマニュアルの見直しを実施した。
- 18 令和4年度に実施した工事・修繕により、地図情報システムのデータ更新を行った。
- 19 令和5年度当初予算編成時に、3市で資材リストの情報共有を行った。
- 20 年間14回実施した。
 - ・大井川広域水道企業団防災訓練（1回）
 - ・大井川広域水道企業団防災無線訓練（6回）
 - ・日本水道協会合同防災訓練（1回）
 - ・シェイクアウト訓練（1回）
 - ・水道事業防災訓練（1回） ほか
- 21 毎月、発電機の試運転時に在庫確認を行い、燃料備蓄が2日分となるようにした。
- 22 令和2年度完了



水道事業防災訓練

日 時 令和4年12月4日（日）9時

場 所 水道庁舎災害対策室

被害想定 震度6強の地震と津波が発生

配水支管からの漏水あり

各配水場の緊急遮断弁が作動し、

市内全域で一時断水

訓練内容

- ・ 日本水道協会への給水車等派遣要請
- ・ 応援協定を締結している企業への応援要請
- ・ 緊急遮断弁の開放、高台施設の被害状況確認
- ・ 給水施設管路などに異常がないか確認
- ・ 給水車による拠点給水活動 など



3-1-3. 持続



基本方針：未来につながる健全な事業経営



基本目標 1：経営基盤の強化

実現施策	財政計画に基づく財源確保	有効率の向上	適正な資産管理	人材の育成と技術継承
重点実行計画	財政計画に基づく適切な財源の確保	配水管更新（予防）、漏水箇所の修理（対処）	アセットマネジメントの精度向上	<ul style="list-style-type: none"> 業務マニュアルの整備、外部・内部研修の実施、先進事業者からの技術支援 再任用職員から次世代職員への技術継承

基本目標 2：業務の効率化

実現施策	業務効率化	台帳整備の効率化	個別委託発注区分の検討
重点実行計画	<ul style="list-style-type: none"> 事務の効率化の調査・研究 発注業務の効率化の検討 	システム活用による水道施設台帳の一元化	個別委託発注区分の検討（運転管理業務などのより効率的な契約内容の検討）

基本目標 3：

お客さまとのコミュニケーションの推進

実現施策	多角的（戦略的）な広報の実施	意見・要望の把握
重点実行計画	<ul style="list-style-type: none"> 施設見学会の実施 経営状況、事業実施状況の情報公開 水質検査結果の公表、おいしい水のPR 	お客さまアンケートの実施

基本目標 4：

環境に配慮した事業の運営

実現施策	省エネルギー化の推進	資源の有効利用の推進
重点実行計画	<ul style="list-style-type: none"> 高効率機器の導入 省エネ活動の継続、省エネ機器の導入 水源井戸の水量調整方法の見直し 	資源の有効活用の推進

基本目標 1 : 経営基盤の強化

	評価指標	R4年度目標		R4年度実績		評価
23	経常収支比率	100	%以上	112.23	%	○
24	内部留保資金	10	億円以上	20.0	億円	○
25	給水収益に対する企業債残高の割合	400	%以下	280.99	%	○
26	水道料金の見直し	-		-		-
27	有効率	94.0	%	91.6	%	×
28	水道施設台帳の更新	1	回/年	1	回/年	○
29	業務マニュアルの見直し、更新	1	回/年	1	回/年	○
30	外部研修受講回数	1	回/人・年	2.0	回/人・年	○
31	内部研修受講回数	1	回/人・年	4.6	回/人・年	○
32	再任用職員を活用した技術指導	毎年実施		1回/年以上実施		○

23 財政計画の計画値108.08%と実績値112.23%の比較 +4.15ポイント

(令和3年度類似団体平均値 111.89%、全国平均値 111.39%)

24 財政計画の計画値12.5億円と実績値20.0億円の比較 +7.5億円

25 財政計画の計画値273.31%と実績値280.99%の比較 +7.68ポイント

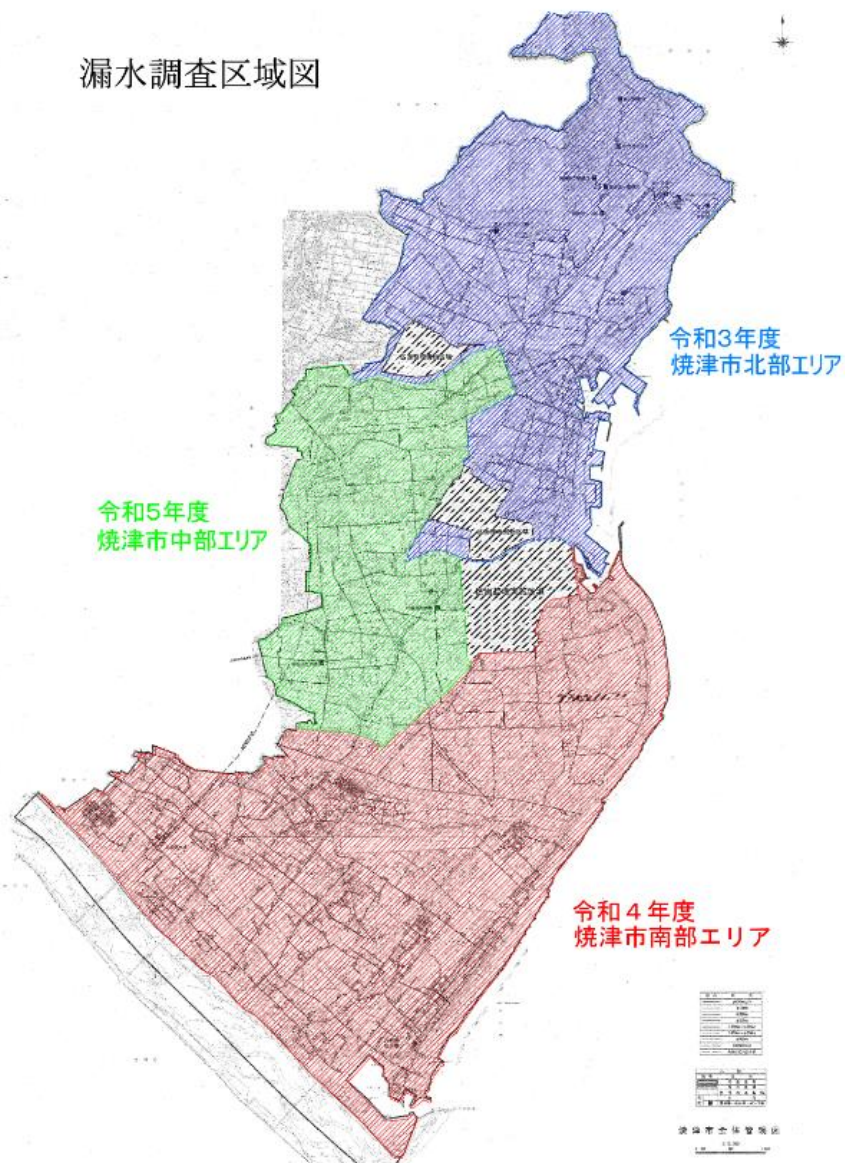
(令和3年度類似団体平均値 236.29%、全国平均値 265.16%)

27 南部地区の水道管216kmについて漏水調査を実施し、69箇所の漏水を発見した。また、市民からの通報箇所を含め、配水管15箇所、給水管110箇所の漏水修繕を実施した。

30 インボイス対応研修、漏水防止講座研修などを受講した(延べ参加回数61回)。

32 担当会議や現場確認時等に、技術指導を行った。

漏水調査区域図



漏水調査と老朽管更新工事

平成30年度から、市内を北部、中部、南部の3地区に分け、3年間で市内全域の調査を完了する漏水調査を開始。

令和4年度は、南部エリアの調査を実施しました。

引き続き、漏水箇所の修繕のほか、計画的な老朽管の更新により、有効率向上に努めていきます。

老朽管更新工事



基本目標 2 : 業務の効率化

	評価指標	R4年度目標	R4年度実績	評価
33	近隣市町との情報交換会	1 回/年	2 回/年	○
34	業務効率化の検討会	1 回/年	3 回/年	○
35	水道施設台帳の一元化	-	-	-
36	個別委託発注区分の検討	R2~3検討	方針決定	○

- 33 書面開催となった三市上水道事業意見交換会に1回参加した。
近隣5事業体で指定工事店更新講習を情報交換しながら開催した。
- 34 発注している委託業務において、長期継続契約を導入した。
また、中部電力ミライズ(株)が提供する電子申請受付サービスを令和4年12月から導入し、5件の申請を受け付けた。
(令和4年4月から開始した開閉栓業務の電子申請(LoGoフォーム)による申請は年間826件)
- 35 令和2年度完了(以降、毎年データ更新)
- 36 計装設備やインバータ設備の点検等について、次回の運転管理業務委託に包含することとした。

基本目標 3 : お客さまとのコミュニケーションの推進

	評価指標	R4年度目標	R4年度実績	評価
37	施設見学会の実施	1 回/年	2 回/年	○
38	決算書の公表	1 回/年	1 回/年	○
39	事業計画の進捗状況の公表	-	-	-
40	水質検査結果の公表	1 回/月	1 回/月	○
41	お客さまアンケートの実施	1 回/年	1 回/年	○

37 8月5日に親子施設見学会を実施した。また、7月14日に東益津小学校の社会見学を受け入れた。

38 令和3年度水道事業会計決算について、9月議会議決後、決算書本編及び概要版を水道事業ホームページで公表した(10月)。

39 水道ビジョン・経営戦略2020に係る令和3年度(計画2年度)のフォローアップを実施し、検証委員会に報告した。また、令和4年度の目標設定を行った。

40 水質検査結果を水道ホームページで公表(毎月更新)した。

41 親子施設見学会でお客さまアンケートを実施した。



水道施設と大井川環境管理センターを巡る 親子見学会

(焼津の水の循環を学ぶ見学会)

日 時 令和4年8月5日(金) 8時30分

場 所 水道庁舎、大井川環境管理センター

参 加 者 小学生とその保護者23名

内容

- ・ 広報映像「焼津市の水道水」視聴
- ・ 祢宜島配水場（水源井戸、配水池、緊急遮断弁、ポンプ室など）施設見学
- ・ 駿河湾に住む生物紹介
- ・ 大井川環境管理センター施設見学 など



基本目標 4 : 環境に配慮した事業の運営

	評価指標	R4年度目標		R4年度実績		評価
42	配水量1m ³ 当たり電力消費量	0.26	kWh/m ³ 以下	0.25	kWh/m ³	○
43	配水量1m ³ 当たり消費エネルギー	2.60	MJ/m ³ 以下(※)	2.54	MJ/m ³	○
44	水源井戸水量調整方法の見直し	検証 1回/年		検証1	回/年	○
45	建設副産物リサイクル率	70.0	%以上	70.0	%	○

※MJ・・・megajoule(メガジュール) 仕事・エネルギー・熱量の単位。1MJ=0.278kWh
 エネルギーを熱量として換算するときはMJ、電力量として換算するときはkWhの単位を使う。

42 電力使用量の合計 (kWh) /年間配水量 (m³)
 $4,979,264 \div 19,608,895 = 0.254 \text{ kWh/m}^3$

43 エネルギー消費量 (MJ) /年間配水量 (m³)
 $49,760,562 \div 19,608,895 = 2.54 \text{ MJ/m}^3$

44 柵宜島3号水源の水源井戸水量調整方法を検証した。

45 コンクリート殻及びアスファルト殻は、再生砕石として再資源化し、また、再生砕岩等を埋戻し材として活用することで、目標を達成した。

3-2.投資計画及び財政計画の進捗状況

3-2-1.投資計画

①施設、管路の更新・耐震化計画

(資本的支出(税込),百万円)

施設名	2020		2021		2022		2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	計		
	R2		R3		R4		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	計		
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	実績	
施設・設備	中新田系水源井戸更新	12	14	0	0	0	0	69	63	67	64	63	0	75	413	14
	中新田配水場施設更新	0	0	0	4	0	0	0	0	5	0	192	0	0	197	4
	祢宜島系水源井戸更新	7	5	69	13	62	0	0	9	0	6	6	0	0	159	18
	祢宜島配水場施設更新	0	5	14	0	8	5	0	107	0	75	0	386	580	1,170	10
	上泉系水源井戸更新	66	57	0	0	0	0	0	6	6	0	0	61	0	139	57
	上泉配水場施設更新	0	0	0	0	0	0	0	0	57	43	0	0	0	100	0
	六軒屋系水源井戸更新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0
	六軒屋配水場施設更新	0	0	0	0	203	18	308	0	0	0	0	0	0	511	18
	高台施設更新	17	13	18	31	113	9	14	69	115	67	85	11	0	509	53
管路	管路更新・耐震化	1,021	826	1,352	1,237	1,012	1,316	923	1,286	1,323	1,100	1,279	1,019	925	11,240	3,379
	他事業関連管路整備	90	77	56	24	56	46	57	57	57	57	57	57	57	601	147
(施設費：備品類)		21	3	21	16	21	9	22	22	22	22	22	22	22	217	28
建設改良費 合計		1,234	1,000	1,530	1,325	1,475	1,403	1,393	1,619	1,652	1,434	1,704	1,559	1,659	15,259	3,728
		▲ 234		▲ 205		▲ 72										

計画額との差額の説明は以下のとおり。

- ・ 祢宜島系水源井戸更新は、水需要を再度精査し、更新時期を見直した。
- ・ 六軒屋配水場施設更新は、施設の更新方法を見直しているため、計画を1億9千万円下回っている。
- ・ 高台施設更新は、古跡ヶ丘ポンプ所の施設用地の取得に時間を要したことから、当初の令和4～5年度の更新計画を、令和5～6年度に変更した。
- ・ 管路の更新は、施設整備の費用の振替を行ったため、計画を3億円上回っている。

②施設の長寿命化に伴う点検・修繕計画

(収益的支出(税抜),百万円)

施設名	2020		2021		2022		2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	計		
	R2		R3		R4		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	計		
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画	実績	
長寿命化分	中新田系水源井戸点検・修繕	0	0	0	0	0	0	3	0	9	0	0	0	0	12	0
	上泉系水源井戸点検・修繕	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	0	0	0	5	0
	中新田配水場設備点検・修繕	8	8	5	6	32	6	32	13	8	43	1	1	24	167	20
	祢宜島配水場設備及び水道庁舎点検・修繕	50	68	2	11	14	4	8	2	10	2	11	3	15	117	83
	上泉配水場設備点検・修繕	13	14	12	13	0	0	2	2	21	3	0	0	3	56	27
	六軒屋配水場設備点検・修繕	0	1	3	1	2	0	21	10	0	0	0	0	0	36	2
計	71	91	22	31	48	10	66	29	48	51	12	4	42	393	132	
修繕費(上記以外)	112	75	67	82	67	77	67	68	69	68	69	68	68	723	234	
修繕費 合計	183	166	89	113	115	87	133	97	117	119	81	72	110	1,116	366	
		▲ 17		24		▲ 28										

施設の長寿命化に伴う点検・修繕計画については、点検結果に基づき経年劣化した設備の修繕を行い、施設の機能維持を図った。

③管路更新・耐震化計画に基づく耐震管率の推移

(km)

耐震管率の指標		2020		2021		2022		2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
		R2		R3		R4		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画
基幹管路 の耐震管 率	耐震管	15.2	17.4	16.9	19.45	18.0	20.46	19.2	21.9	23.8	26.0	27.5	29.7	31.9
	延長	46.9	48.7	46.4	49.0	45.5	48.1	45.6	45.9	45.3	45.1	45.0	44.7	44.7
	耐震管率	32.4%	35.7%	36.4%	39.7%	39.6%	42.5%	42.1%	47.7%	52.5%	57.6%	61.1%	66.4%	71.4%
重要給水 施設管路 の耐震管 率	耐震管	14.7	14.7	17.3	17.3	18.5	19.2	21.3	23.6	27.1	30.0	31.5	33.9	36.2
	延長	49.2	49.2	49.2	49.2	49.2	49.2	49.2	49.2	49.2	49.2	49.2	49.2	49.2
	耐震管率	29.9%	29.9%	35.2%	35.2%	37.6%	39.0%	43.3%	48.0%	55.1%	61.0%	64.0%	68.9%	73.6%

基幹管路の耐震管率、重要給水施設管路の耐震管率は、計画を上回っている。

投資計画のまとめ

施設の更新時期は計画よりもやや遅れているが、計画に沿って実施していく予定。

管路の更新の投資額を計画よりも多くしたことで、耐震管率は計画を上回っている。

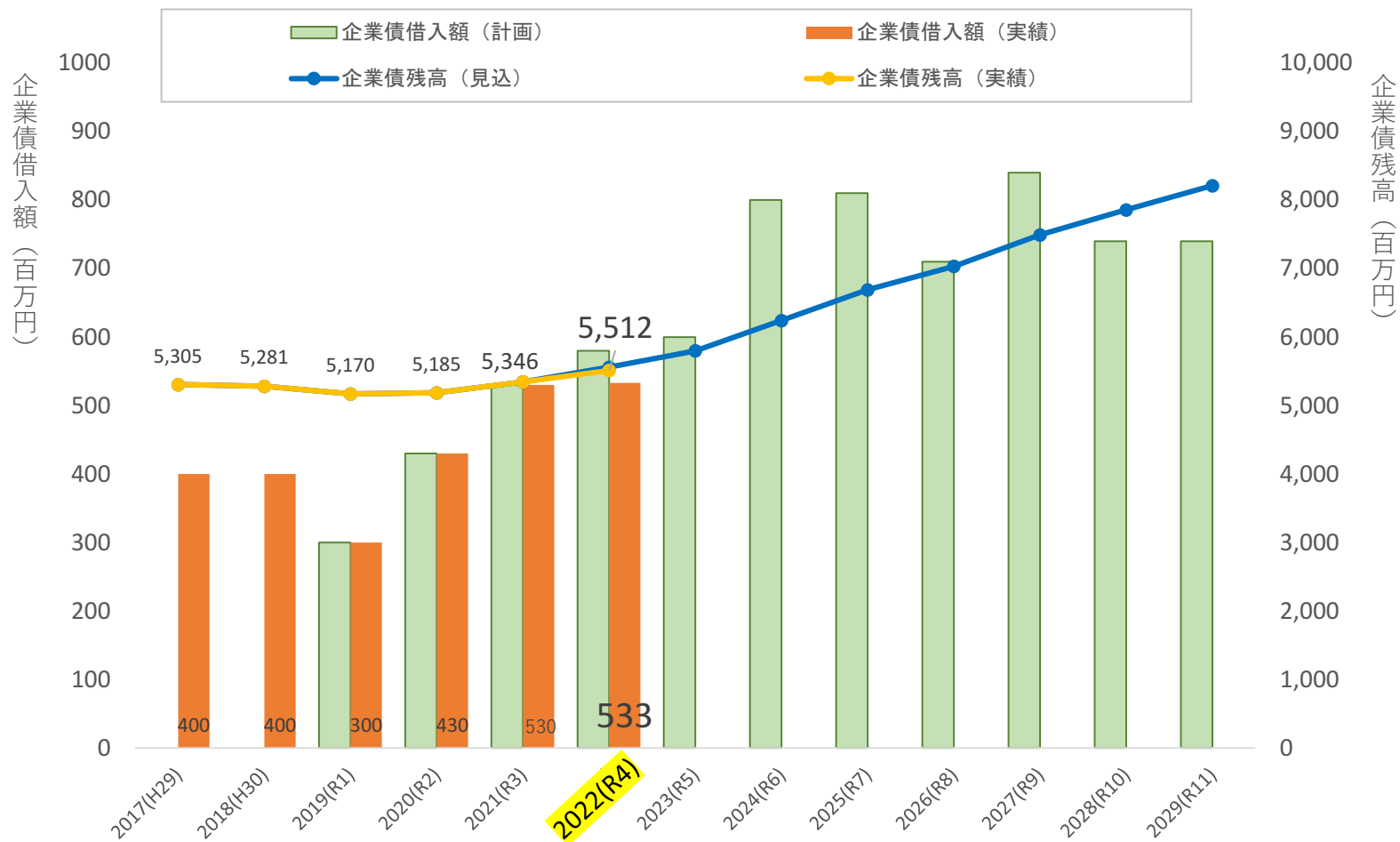
ビジョンの後期計画の見直しでは、当初の投資計画から変更があった点を修正する予定。

3-2-2.財政計画

項目		単位	2021 (R3)			2022 (R4)			
			計画	決算	比率	計画	決算	比率	
収益的 収入 収益的 支出 当期純利益	収益的 収入	営業収益	千円	2,068,409	1,998,625	96.6	2,055,094	1,974,318	96.1
		給水収益	千円	2,047,778	1,987,139	97.0	2,034,463	1,961,543	96.4
		受託工事収益	千円	17,600	8,147	46.3	17,600	10,008	56.9
		その他営業収益	千円	3,031	3,339	110.2	3,031	2,767	91.3
		営業外収益	千円	149,338	155,664	104.2	143,873	145,054	100.8
		他会計補助金等	千円	5,453	5,737	105.2	5,453	5,945	109.0
		長期前受金戻入	千円	129,222	133,987	103.7	123,757	124,122	100.3
		その他営業外収益	千円	14,663	15,940	108.7	14,663	14,987	102.2
		計(税抜)	千円	2,217,747	2,154,289	97.1	2,198,967	2,119,372	96.4
	収益的 支出	営業費用	千円	1,884,767	1,780,739	94.5	1,973,370	1,826,945	92.6
		給与費	千円	195,945	155,093	79.2	196,136	173,634	88.5
		動力費	千円	85,801	85,672	99.8	85,058	122,712	144.3
		受水費	千円	370,000	366,588	99.1	370,000	367,631	99.4
		委託料	千円	256,470	233,153	90.9	258,779	249,588	96.4
		修繕費	千円	88,675	113,034	127.5	115,145	87,318	75.8
		減価償却費等	千円	843,162	786,772	93.3	903,148	772,874	85.6
		一般管理費	千円	44,714	40,427	90.4	45,104	53,188	117.9
		営業外費用	千円	66,053	67,438	102.1	61,136	61,438	100.5
資本的 収入 資本的 支出 資本的 収支不足額 補填財源	資本的 収入	企業債	千円	530,000	530,000	100.0	580,000	533,100	91.9
		工事負担金	千円	49,850	19,843	39.8	50,299	26,104	51.9
		その他資本的収入	千円	0	0	-	0	0	-
	計(税込)	千円	579,850	549,843	94.8	630,299	559,204	88.7	
	資本的 支出	建設改良費	千円	1,529,805	1,324,633	86.6	1,475,283	1,403,373	95.1
		企業債償還金	千円	369,021	369,643	100.2	365,769	366,869	100.3
		計(税込)	千円	1,898,826	1,694,276	89.2	1,841,052	1,770,242	96.2
	資本的収支不足額	千円	▲ 1,318,976	▲ 1,144,433	86.8	▲ 1,210,753	▲ 1,211,038	100.0	
	補填財源	消費税資本的収支調整額	千円	124,597	111,619	89.6	119,961	109,483	91.3
損益勘定留保資金		千円	703,940	653,165	92.8	711,391	649,098	91.2	
利益剰余金処分額		千円	490,439	379,649	77.4	379,401	452,457	119.3	
内部 資金 留保	利益剰余金	千円	1,466,538	2,150,387	146.6	1,251,598	2,001,727	159.9	
	減債積立金	千円	-	447,115	-	-	463,115	-	
	建設改良積立金	千円	-	1,017,511	-	-	855,166	-	
	繰越(未処分)利益剰余金	千円	-	685,761	-	-	683,446	-	
企業債残高		千円	5,346,192	5,345,575	100.0	5,560,423	5,511,806	99.1	

①企業債の活用

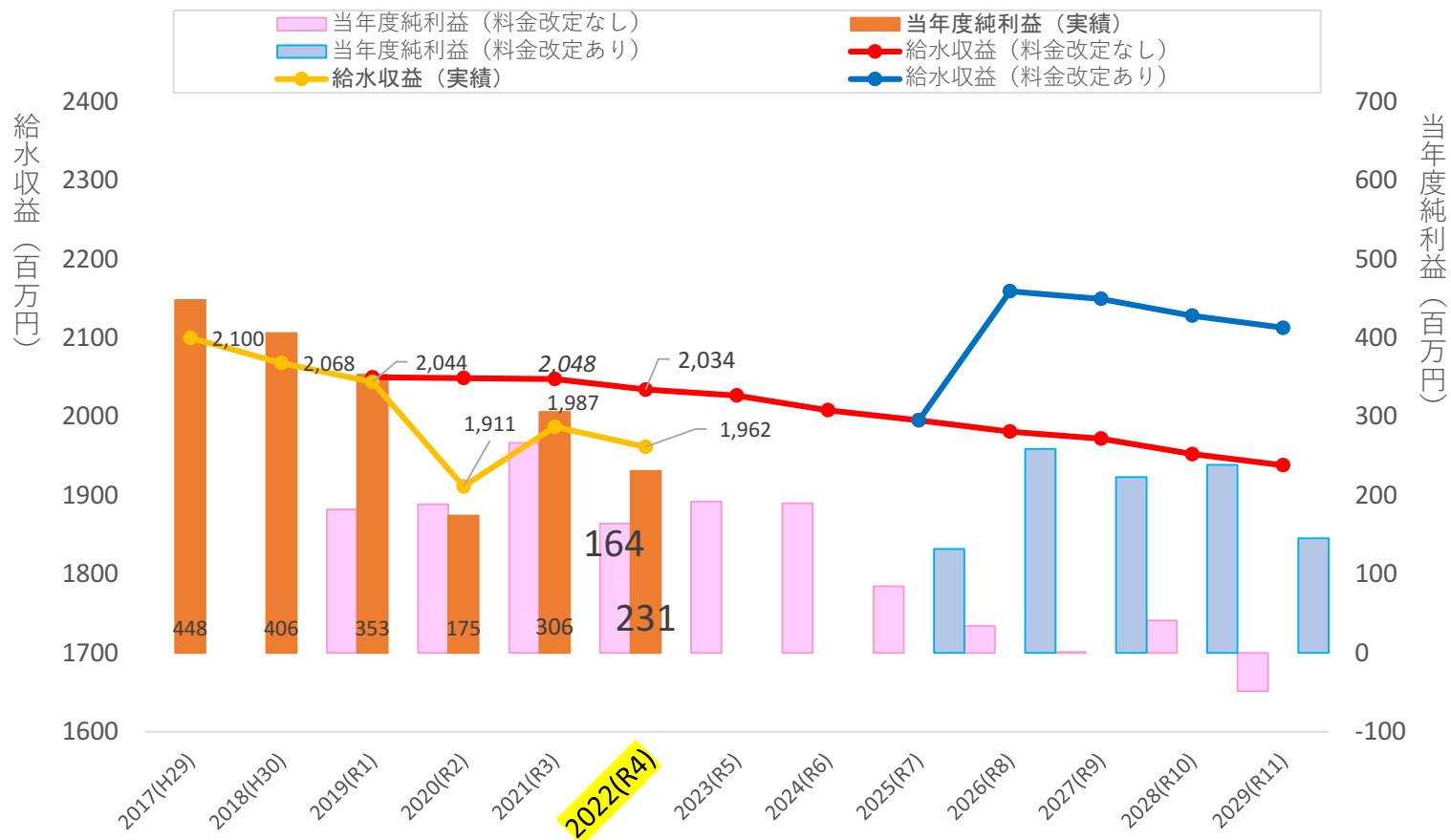
企業債借入額と企業債残高



企業債借入額は計画額をやや下回っている。
企業債残高は、計画どおりである。

②健全な収支バランスの維持

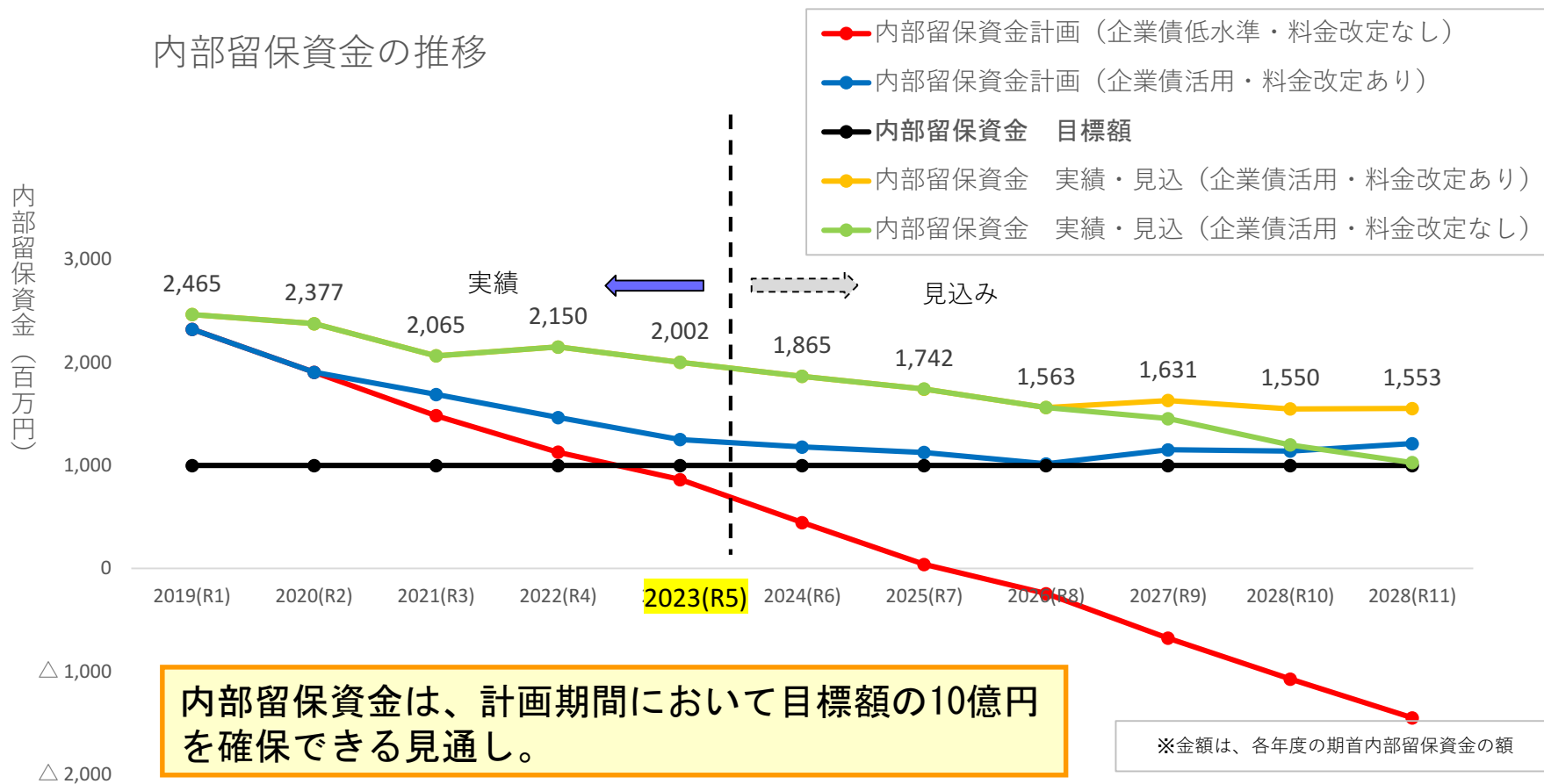
給水収益と当年度純利益



- ・ 給水収益は、給水人口の減少などにより、計画を7,200万円程度下回った。
- ・ 当年度純利益は、計画よりも支出を抑えたことにより、計画を約6,700万円上回った。

③内部留保資金目標額の確保

内部留保資金の推移



財政計画のまとめ

財政収支のバランスが保たれており、健全な経営が持続されていると考えられる。

3-3.令和4年度目標達成状況のまとめ

重点実行計画の達成状況

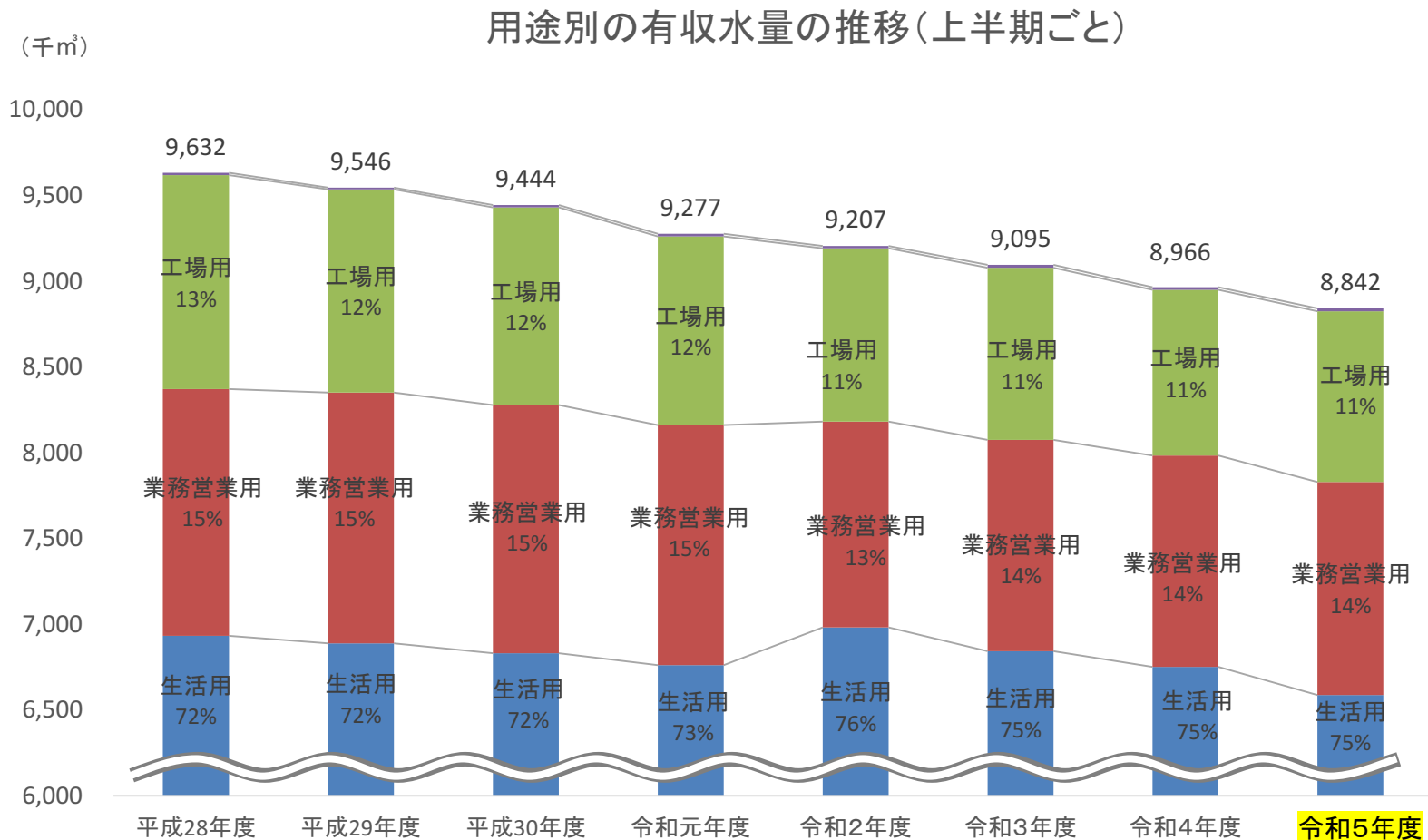
- ・ 評価対象38項目のうち、未達成の項目は1つ（有効率）のみ。引き続き、漏水防止を図るための老朽管の更新及び漏水調査・修繕を実施し、目標達成に努める。

投資・財政計画の進捗状況

- ・ 施設更新は水需要に基づき更新方法等を再考しているため、計画よりもやや遅れている。施設更新分の投資額を管路更新へ振り替えているため、管路の耐震管率は計画を上回っている。
- ・ 財政計画について、財政収支のバランスは保たれており、健全な経営が持続されている。

4. 令和5年度決算の見込み

4-1. 用途別水需要(令和5年度上半期実績)

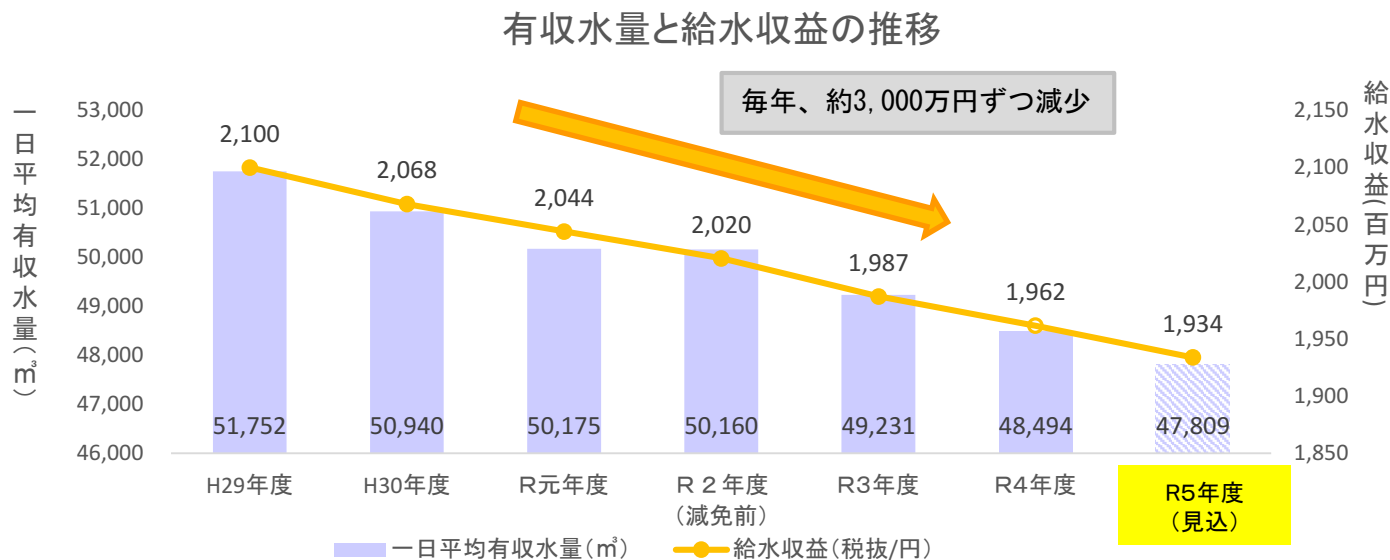


用途別の水需要の構成は令和3年度以降変わっていませんが、全体の有収水量の減少が進んでいます
上半期の有収水量は、前年同期より1.4%減少

4-2.水道事業を取り巻く動向

給水収益の減少

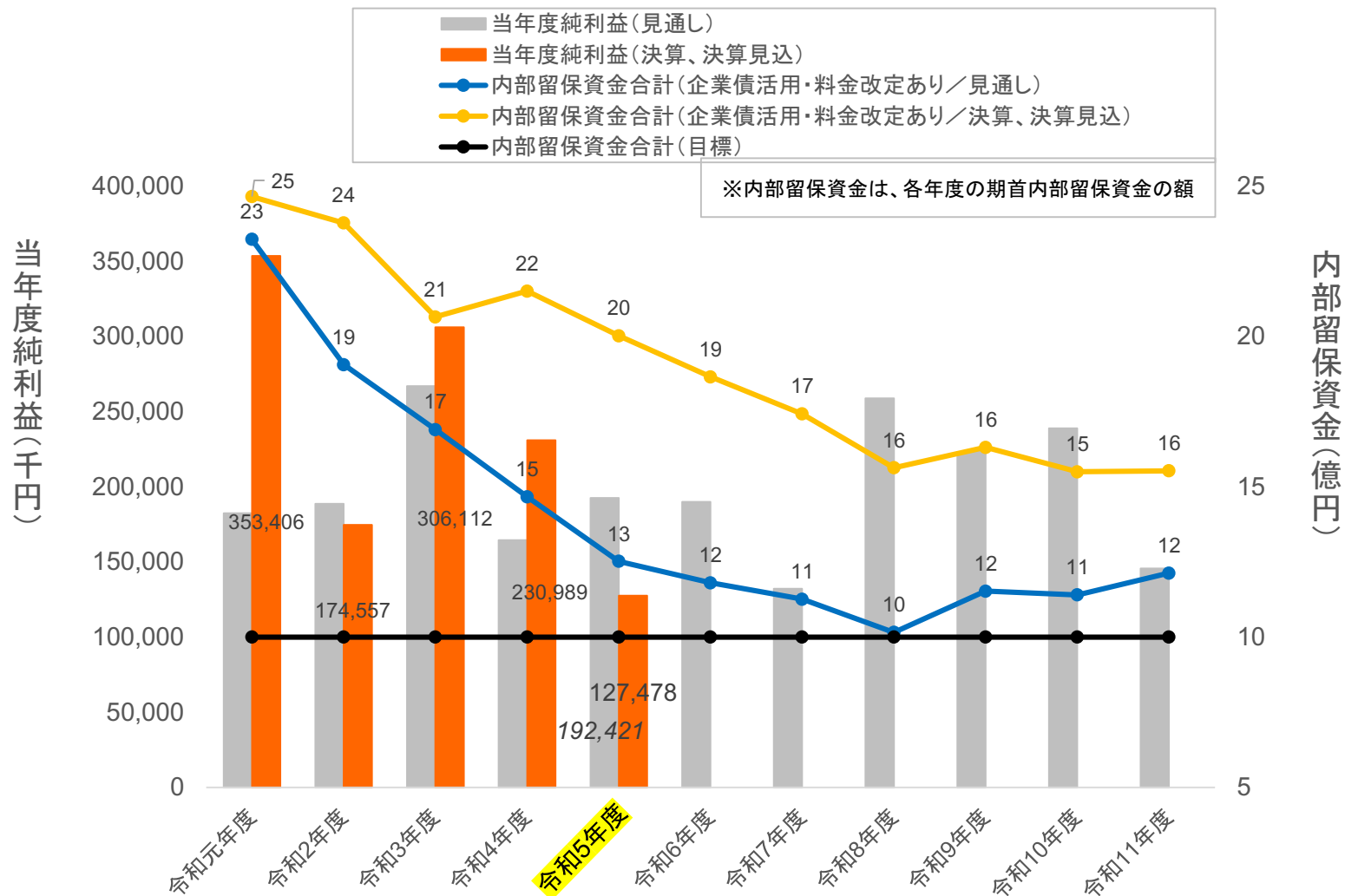
- ・ 水需要の減少により、給水収益の減少が見込まれる



原材料費の高騰の影響

- ・ 原材料費が高騰している。
- ・ 動力費（機械装置等の運転に必要な電力料及び燃料費）は昨年度から高止まりしている。

4-3.当年度純利益と内部留保資金の見込み



当期純利益は概ね見通しどおり。
内部留保資金は期間を通じて目標の10億円を確保できる見込み。